

第4章 施策の大綱

1 みんなで進める住みよいまちづくり

本市ではこれまで、市民と行政がそれぞれの責任と役割を自覚しながら、対等の関係で地域の課題解決に取り組む「協働のまちづくり」を推進してきました。本格的な人口減少社会を迎えた中で、本市が将来にわたって持続可能な発展を遂げるためには、市民と行政がこれまで以上に力を合わせ、住みよいまちづくりを進めていくことがますます重要となります。

そのため、まちづくりの基盤となる地域コミュニティの充実・強化に取り組むとともに、市民はもちろん、市外からの転入者も「住んでいて良かった」「これからも住み続けたい」と思えるように、本市の魅力を市内外に発信し、移住・定住につながる取り組みを促進します。また、本市が持つ「住みよさ」の向上を図るため、防災・防犯、福祉、教育などの各分野において、市民との協働のまちづくりを推進します。

(1) 地域コミュニティの充実を図る

- ・人と人とのつながりを感じることができる充実した地域コミュニティを形成するため、地域の発展や課題解決に取り組む市民自治組織の活動を支援するとともに、自治活動の拠点となる施設の整備・充実を図ります。
- ・自治活動の必要性を市民に理解してもらうため、市民自治組織に関する情報を広く市民に発信するとともに、市民自治組織と連携・協力しながら、転入者などに対する自治会への加入促進に努めます。

(2) 誰もが住み続けたいと思えるまちづくりを推進する

- ・誰もが「住みよさ」を実感し、「これからも住み続けたい」と思えるように、本市の魅力を市内外に発信するシティプロモーションを推進するとともに、結婚支援や子育て世帯に対する住宅取得助成の実施、移住を検討している人への相談窓口の開設など、移住・定住につながる取り組みを促進します。
- ・地域の景観を保全し、交流人口の拡大や移住・定住の促進を図るため、市内にある空き家の情報提供や利活用を進めます。

(3) 市民との協働によるまちづくりを推進する

- ・市民一人ひとりがまちづくりの主体であることを認識し、進んでまちづくりに参加できるように、協働に対する意識の醸成を図るとともに、まちづくりを担う人材の育成に努めます。
- ・市民活動の活性化を図るため、市民の自主的・自発的な活動を支援するとともに、市民がまちづくりに参画する機会の提供に努めます。
- ・市民、市民自治組織、市民活動団体など多様な主体が、共に手を携えながら行う協働事業を推進します。
- ・市民の意見を的確に把握し、市民と情報を共有しながらまちづくりを進めるため、広報・広聴機能の充実を図ります。

コメント【事務局1】:

- 【地区別座談会】
- ・コミュニティセンターが一つもない。
- ・集会所に対する施策が充実していない。

コメント【事務局2】:

- 【地区別座談会】
- ・自治会やまちづくり委員会の役割を話し、地域活動への参加を呼び掛ける。

コメント【事務局3】:

- 【地区別座談会】
- ・最近、自治会を辞める人が多い。
- ・自治会の加入率が厳しくなっている。加入率の向上に力を貸してもらいたい。

コメント【事務局4】:

- 【市民ワークショップ】
- ・那珂市はPRが下手
- 【地区別座談会】
- ・茨城県の知名度は47位だ。その中の那珂市なのだから、インパクトのあるものをやらなかったら、目立たないと思う。

コメント【事務局5】:

- 【まちづくりカフェ】
- ・若い人がいない。みんな外に出て行ってしまふ。子どもがいない
- 【地区別座談会】
- ・もっと若い人に住んでもらえるよう、何か活性化してくれないと、20年後どうなるか不安だ。
- 【総合開発審議会】
- ・これからは、若くて、税金を納められる人が那珂市に住むような方向に持って行ってもらいたい。

コメント【事務局6】:

- 【市民ワークショップ】
- ・空き家が多くなっている。
- 【まちづくりカフェ】
- ・空き家を使って、子どもたちと高齢者との交流の場に！
- 【総合開発審議会】
- ・空き家バンクを創設したり、危険な建物を取り壊したりするというのを計画に盛り込むことができればよい。

コメント【事務局7】:

- 【地区別座談会】
- ・市民との協働では、財政的な補助を強力に進めてもらいたい。

コメント【事務局8】:

- 【まちづくりカフェ】
- ・ボランティアに参加する「きっかけ」をどのようにして提供するかが課題だ。

コメント【事務局9】:

- 【市民ワークショップ】
- ・市の広報が分かりづらい。
- 【地区別座談会】
- ・要望などを聞いて、持ち上げていくような段取り、方法を講じてもらいたい。

(4) 互いに尊重し合う社会の形成を図る

- 市民一人ひとりの人権が尊重される社会をつくるため、あらゆる機会をとらえて、人権啓発・人権教育の推進に取り組みます。
- 男女が社会の対等な構成員として、あらゆる分野の活動に参画する機会が確保され、共に責任を担うことができるように、市民や事業所への啓発活動や男女共同参画に関する情報発信に努めます。
- 働く女性やこれから働こうとする女性が職業生活において活躍できるように、女性やその家族からの相談に応じ、関係機関の紹介や有用な情報の提供、助言などに努めます。

コメント [事務局10]:

【市民ワークショップ】

- ・女性の参加が少なすぎる。

【総合開発審議会】

- ・男女共同参画のイベントを開催すると、男性の参加が少ない。市でもできるだけPRしてもらいたい。

2 安全で快適に暮らせるまちづくり

近年、地球温暖化の進行が原因と思われる異常気象や風水害、地震などの大規模災害が全国各地で発生し、東日本大震災を契機として芽生えた共助の重要性が再認識されています。二セ電話詐欺やインターネットを使った犯罪なども市民の身近な問題になっており、防災・防犯意識の更なる向上が求められています。本市では、多くの地域で自主防災組織や自警団が結成されていますが、今後も市民と行政が連携し、防災・防犯活動に継続的に取り組むことが必要です。

そのため、市民が安全で快適に暮らすことができるように、自助・共助・公助による防災・防犯体制の充実・強化に取り組めます。また、道路や下水道などの生活基盤の整備を進めるとともに、本市の豊かな自然や田園風景を次世代へと引き継ぐために、自然環境の保全に努め、環境に配慮した現代にふさわしい持続可能な社会の実現を目指します。

(1) 災害に強いまちをつくる

- 地震、火災、原子力災害などから市民の生命や財産を守るため、災害時における情報伝達体制を整備するなど、防災体制を強化するとともに、地域の自主防災組織などと連携した実効性のある防災訓練を行い、市民の防災意識の向上を図ります。
- 原子力災害の安全対策については、国や県、近隣市町村と連携し、原子力災害に備えた防災体制の強化と広域避難体制の確立を図るとともに、原子力に関する正しい知識の普及啓発を行うなど、市民・行政・事業者間の相互理解に努めます。
- 消防・救急体制を強化するため、消防車両や資機材の整備、認定救急救命士の養成を計画的に進めるとともに、消火訓練、避難訓練及び救命講習会などを通して、初期消火や応急手当の重要性について普及啓発を行います。

(2) 犯罪を防ぐまちをつくる

- 警察などの関係機関と連携し、犯罪の全国的な傾向を踏まえた啓発活動を行うなど、防犯意識の向上を図るとともに、防犯協会や自警団を中心とする地域の防犯活動を推進します。
- 悪質商法などによる消費者被害を防ぐため、消費者団体と連携し、啓発活動を行うなど、市民意識の向上と消費者相談体制の充実を図ります。

(3) 交通安全を推進する

- 交通事故を未然に防ぐため、交通安全に対する意識の向上を図るとともに、警察などの関係機関と連携を密にし、交通安全体制の充実に努めます。
- 道路標識やカーブミラー、ガードレールなどの交通安全施設の整備を進め、安全な交通環境の向上に努めます。

(4) 健康で快適に過ごせる生活環境の保全を図る

- 水質汚濁や土壌汚染、騒音などの公害を防止するため、市民や事業所に対して啓発活動を行うとともに、監視体制の充実・強化を図ります。
- 生活環境を保全し、豊かな自然を守るため、管理不良の空き地や空き家に関する指導・助言、有害鳥獣による被害防止対策を進めるとともに、自然環境や自然景観の保全に取り組む市民の

コメント【事務局11】:

【市民アンケート】

・防災・防犯・交通安全の対策を優先すべき。
・防犯・防災体制の整ったまちであってほしい。

【地区別座談会】

・東日本大震災の時に、消防署などへ連絡する方法がなかった。何らかの方法で連絡を取れるようにできないか。

コメント【事務局12】:

【市民ワークショップ】

・原子力施設が近くにあり、不安を感じる。

【地区別座談会】

・原発事故を想定したまちづくりも必要と考える。特に避難先などは周知しておいた方がベターと思う。

コメント【事務局13】:

【市民アンケート】

・防災・防犯・交通安全の対策を優先すべき。
・防犯・防災体制の整ったまちであってほしい。

【まちづくりカフェ】

・犯罪のない明るいまちづくりのために、これからも汗を流したい。

コメント【事務局14】:

【まちづくりカフェ】

・交通安全母の会の活動を地域にも広げていきたいので、自治会との連携が今後の課題だ。

コメント【事務局15】:

【市民アンケート】

・防災・防犯・交通安全の対策を優先すべき。

コメント【事務局16】:

【地区別座談会】

・空き地の問題 草だらけ

【総合開発審議会】

・空き家バンクを創設したり、危険な建物を取り壊したりすることを計画に盛り込むことができればよい。

コメント【事務局17】:

【市民ワークショップ】

・有害動物の多発（イノシシ）

【まちづくりカフェ】

・イノシシやハクビシン等による被害が多く、何とかしたいと思っている。

自主的な活動を支援します。

- 不法投棄対策については、市民自治組織と連携・協力して監視を行うとともに、市内一斉清掃などを実施することにより、意識の向上を図ります。

コメント [事務局18]:
【まちづくりカフェ】
・ゴミや不法投棄が多い。
【地区別座談会】
・不法投棄、ごみの投棄が他県に比べてマナーが悪い。指導が行き届いていない。

(5) 地球にやさしい持続可能な社会への転換を図る

- 環境に配慮した現代にふさわしい持続可能な社会を築くため、ごみの減量化に関し、3R活動の推進と分別の徹底を図ります。
- 温室効果ガスの排出総量削減に向けて、市民・事業者・行政が一体となって省エネルギーや省資源などの環境にやさしいライフスタイルを推進し、地球温暖化対策に取り組みます。

コメント [事務局19]:
【まちづくりカフェ】
・燃やすゴミを減らし、ダイオキシンを減らしたい。

(6) 利便性の高い交通基盤を整える

- 安全で快適な交通環境を形成し、円滑な交通の流れを確保するため、幹線道路や生活道路などの整備を進めるとともに、橋梁の老朽化対策に努めます。
- 公共交通については、地域の特性や市民ニーズを考慮した広域的な公共交通ネットワークの構築を検討するとともに、高齢者などが安心して便利に利用できる移動手段の確保に努めます。

コメント [事務局20]:
【まちづくりカフェ】
・環境の問題を市全体で考えてもらい、それに協力したい。

(7) 自然環境を活かした機能的な都市づくりを推進する

- 市街化区域については、市の顔となる魅力的な生活拠点の形成を目指し、都市基盤の整備を進めます。
- 市街化調整区域については、区域指定制度の導入により、集落の維持・保全を図り、地域の特性を活かしたまちづくりを進めます。

コメント [事務局21]:
【市民アンケート】
・生活基盤（道路の整備）が不十分。
【地区別座談会】
・消防車や救急車が入れない道路は、優先的に整備してほしい。

(8) 安定的に水道水を供給する

- 安全で良質な水を安定的に供給するため、浄水施設や配水管を適正に管理するとともに、老朽化した施設や設備については、東日本大震災の経験を踏まえ、耐震性を考慮しながら改修や更新を進めます。

コメント [事務局22]:
【市民アンケート】
・交通の利便性が不十分。
【市民ワークショップ】
・公共交通が不便 年をとった時心配
【総合開発審議会】
・高齢者の立場からすると、交通が問題だ。

(9) 効率的に生活排水を処理する

- 水環境を保全し、衛生的な生活環境を実現するため、公共下水道や農業集落排水施設の整備を計画的・効率的に進めるとともに、合併処理浄化槽の普及と適正な維持管理についての啓発を行います。

コメント [事務局23]:
【地区別座談会】
・市街化区域では宅地を促進するが、充足率が50%に満たない。まだまだ事業費を投入すべきではないか。

コメント [事務局24]:
【地区別座談会】
・那珂市は市街化調整区域が多すぎるため、人口が増えない。規制緩和を早急にお願いしたい。

コメント [事務局25]:
【市民ワークショップ】
・下水道の整備が遅れている。
【地区別座談会】
・下水の問題は早急に解決してもらいたい。

3 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり

社会的・経済的に配慮を要する人々に対してやさしいまちは、すべての市民が安心して生活することができるまちといえます。少子高齢化や人口減少が進む中、本市においても、若い世代の移住・定住を促し、安心して子どもを産み育てられるための取り組みや高齢者が自立していきいきと暮らせるための取り組み、障がい者が安心して暮らせる環境づくりが必要になります。

そのため、すべての市民が安心して生きがいを持って暮らせるように、家庭や地域で支え合える、やさしさにあふれた社会の実現を目指します。また、市民一人ひとりに合った保健・医療・福祉のサービスを提供するため、関係機関との連携を強化するとともに、市民の生きがいと健康づくりを推進します。特に、少子化対策については、妊娠・出産からの切れ目のない支援を行うとともに、地域全体で子育てを支える体制の強化に取り組みます。

(1) 安心して子どもを産み育てられる環境を整える

- 市民が安心して子どもを産み育てられるように、多子世帯への支援の充実、各種手当の支給、医療費や健診費用の助成など、**子育て費用の負担軽減を図ります。**
- きめ細かな子育て情報の提供や子育て家庭の交流の場を確保するとともに、関係機関と連携し、**妊娠・出産・育児についての相談体制の充実に努めます。**
- 地域の中で安心して子育てができ、子どもが健やかに育つように、子ども・子育て支援の重要性について市民の関心と理解を深めるとともに、子育て家庭と地域の交流活動や身近な地域での見守り活動を促進するなど、**地域全体で子育てを支える体制の充実・強化に取り組みます。**
- 子育てと仕事が両立できる環境づくりを進めるとともに、ワーク・ライフ・バランスの普及啓発に努めます。**

コメント [事務局26]:

【地区別座談会】

- 子育て支援を充実してほしい。(助成金、医療)

コメント [事務局27]:

【地区別座談会】

- 子育てをしている人、高齢者、障がい者が相談できる体制を強化・充実する。

コメント [事務局28]:

【市民アンケート】

- 子育てしやすく子どもが健やかに育つまちであってほしい。

コメント [事務局29]:

【市民ワークショップ】

- 保育所の受け入れ人数を増やしてほしい。
- 子どもが少ない。(子育て環境)
- 【まちづくりカフェ】
- 学童クラブ 本当にありがたい。
- 【地区別座談会】
- 保育園数の増加、学童保育の充実、小児科の充実 女性が子どもを産み育てていける環境をつくらなければ、少子化は改善されないのでは。

コメント [事務局30]:

【地区別座談会】

- 市では予防介護サービスを導入しようとしているが、市が積極的に進めれば、我々もそれに沿って対応していきたい。

コメント [事務局31]:

【まちづくりカフェ】

- 健康な高齢者になりたい。それには、外に出て、人と付き合うことが大切だと思う。

(2) 高齢者がいきいきと暮らせる環境を整える

- 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように、**医療・介護・介護予防・住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」を推進するとともに、高齢者福祉サービスの充実などにより、高齢者を地域全体で支える体制づくりを進めます。**
- 今後増加が見込まれる一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、認知症の人や在宅介護を必要とする人などに対し、関係機関が連携し、高齢者の現状・課題・目標を共有しながら、**高齢者がいきいきと暮らすための環境を整えます。**
- 認知症などで判断能力が十分ではない人が安心して暮らせるように、近隣市町村と連携し、**成年後見制度の充実に努めます。**

(3) 障がい者が地域社会で安心して暮らせる環境を整える

- 障がい者が地域社会の一員として自立した生活を送れるように、地域自立支援協議会を中心とする関係機関の横断的な支援体制の充実に努めるとともに、一人ひとりに応じた適切な障害福祉サービスの提供と支援を行います。
- 障害者差別解消法の趣旨にのっとり、**障がい**を理由とする差別の解消に積極的に取り組むとともに、**市民の障がい者に対する理解を深め、共に助け合う真の共生社会づくりに向けた取り組み**

みを推進します。

- ・障がい特性に応じた就労の支援などを通して、障がい者の経済的自立を促進します。

コメント【事務局32】:

【まちづくりカフェ】
・まずは理解が第一 理解があると、生活しやすくなる！

コメント【事務局33】:

【まちづくりカフェ】
・障がいを持つ方、高齢者の方の働く場→人が持つ能力を活かす場所があると良い。

コメント【事務局34】:

【まちづくりカフェ】
・困った人がいたら、助ける、声を掛ける、手を差し伸べる。みんなが仲良く、さみしさを感じさせないまちにできればよいと思う。

【総合開発審議会】
・地域の見守り体制ができていないと、超高齢化社会になった時に大変だと思う。

コメント【事務局35】:

【地区別座談会】
・障がい者のための道路、点字ブロックが余りない。

【総合開発審議会】
・車椅子ユーザーは、公共交通機関で乗れる物がない。

コメント【事務局36】:

【市民アンケート】
・医療・福祉環境（医療・健康環境）を優先すべき。

コメント【事務局37】:

【市民ワークショップ】
・休日夜間の病院の整備が不十分。

コメント【事務局38】:

【市民アンケート】
・医療・福祉環境（医療・健康環境）を優先すべき。

【市民ワークショップ】
・老後の健康への不安。

【地区別座談会】
・健康寿命が大事だ。
・要介護者をつくらず、社会保障費を削減するために、食に関して気がかりなことがある。塩分・糖質の取りすぎについて。

（４）家庭や地域で支え合う福祉環境を整える

- ・市民が家庭や地域で安心して暮らせるように、保健・医療・福祉それぞれの関係機関との連携により福祉サービスの充実を図るとともに、地域における見守り体制づくりを進めます。
- ・低所得者世帯に対しては、自立や就労につながるように、居住の場の確保や相談体制の充実を図ります。
- ・公共施設や道路などは、誰もが利用しやすいようにバリアフリー・ユニバーサルデザイン化を推進します。

（５）適切な医療が受けられる環境の充実を図る

- ・市民が身近で安心して適切な医療が受けられるように、地域医療体制の充実を図るとともに、近隣市町村や医療機関と連携し、初期救急医療体制の充実や医師などの確保に向けた取り組みを進めます。
- ・国民皆保険制度の基礎となる国民健康保険については、県及び県内の各市町村と共同で運営することで、財政基盤の安定化や事務の効率化を図ります。
- ・医師会、薬剤師会などの関係機関と連携を図り、特定健診、かかりつけ医及びかかりつけ薬局の重要性・必要性について普及啓発に努めます。

（６）健康で生きがいをもって暮らせる保健体制の充実を図る

- ・生活習慣病を予防し、健康寿命を延ばすため、妊娠期から高齢期まで生涯を通じて各種健診や相談事業を実施するとともに、保健指導や食育を通して市民の健康づくりを推進します。
- ・がんを早期に発見し、適切な治療が受けられるように、がん検診の重要性の啓発や検診を受けやすい環境づくりを進めます。
- ・心の健康づくりについては、関係機関との連携を強化し、地域における支援体制の充実を図るとともに、市民の理解が深まるように、正しい知識の普及啓発を行います。

4 未来を担う人と文化を育むまちづくり

本市では、少子化の影響により児童・生徒数が減少し、集団教育の確保、歴史や文化の次世代への継承などが課題となっています。市の未来を担う子どもたちの教育、健全育成はもとより、すべての世代の人々が学習活動、スポーツ活動、文化活動そして相互交流を行い、豊かな人間性を育むことが何より大切です。

そのため、市の未来を担う子どもたちが、確かな学力と豊かな心を身につけられるように、学校教育の充実に取り組むとともに、地域全体で青少年を育てる意識を高めます。市民が生涯にわたり豊かな心と健全な体で自然とふれあい、文化を育みながら暮らせるように、生涯学習・生涯スポーツ環境の充実と自主的な活動を支援します。また、市民が郷土の歴史や伝統を身近なものと感じられるように、歴史資産や伝統文化を保存・継承し活用を促進します。

(1) 豊かな心を育む学校教育の充実を図る

- ・自らの夢や希望に向けて、力強く生き抜く児童・生徒を育成するため、小中一貫教育を更に推進し、児童・生徒の発達段階に応じたきめ細かな学習指導や生徒指導を行います。
- ・児童・生徒の不安や悩みなどを解消するため、相談体制の充実を図ります。
- ・教育関連施設・設備の維持管理や教材備品の配備を適切に行うなど、教育環境の整備を進めます。
- ・小規模校の活性化を図るとともに、将来の学校を取り巻く状況を踏まえ、小中学校の適正規模化について検討します。
- ・市民自治組織や市民活動団体などとの連携、食育の観点から踏まえた地産地消を推進する学校給食の提供など、特色ある学校づくりを進めます。

コメント [事務局39]:

【市民ワークショップ】

- ・学校学力向上 クラブ活動や進学率向上など

コメント [事務局40]:

【市民ワークショップ】

- ・学校の減少は本当に残念です。
- 【地区別座談会】
- ・小規模校でも残していくのか、指針を示してほしい。

(2) 未来を担う青少年の健全育成を図る

- ・市の未来を担う青少年が心豊かにたくましく育つように、地域・家庭・学校と連携し、親子どもの地域活動や文化・スポーツ活動への参加を促進するとともに、学びや体験を通じた社会性を育む機会を提供します。
- ・多感な青少年期の不安や悩みを解消できる相談体制の充実を図ります。
- ・青少年の健全育成に関し、家庭が果たす役割や家庭教育のあり方について市民の理解が深まるように、学習機会の提供や啓発を行います。

コメント [事務局41]:

【まちづくりカフェ】

- ・小中学校で茶道などの日本文化を教える時間があればよいと思う。
- ・市内には、エキスパートや資格を持つ人が多くいるので、キャリア学習を市の教育に取り上げればよいと思う。

(3) 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える

- ・市民一人ひとりが生涯にわたりテーマを持って学習できるように、生涯学習環境の充実や市民ニーズに応じた魅力ある学習機会の提供に努めます。
- ・幅広い世代が芸術文化に興味や関心を持てるような場を提供し、芸術文化を振興する機運を高めます。

コメント [事務局42]:

【地区別座談会】

- ・廃校になった小学校を「ふるさと教室」に利用するなど、トータル的な施策をなぜ打ち出せないのか。

(4) スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える

- ・市民がスポーツを通して心身共に充実して健康に暮らせるように、スポーツ環境の充実を図り

コメント [事務局43]:

【市民ワークショップ】

- ・芸術的（文化的）イベントが少ない。

ます。

- ・市民主体のスポーツ活動を活発化するため、人材の育成・確保に努めるとともに、身近な地域でスポーツに触れる機会を提供する総合型地域スポーツクラブの活動を支援します。

(5) 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る

- ・市内に残る文化財や史跡などの歴史資産と郷土芸能などの伝統文化を後世に残すため、適切な保護・保存・伝承に努めるとともに、市の歴史や先人たちの偉業を広め、市民一人ひとりにふるさとを愛し、誇る心を育てます。
- ・産業や観光の振興を図るための地域資源として、歴史資産と伝統文化の活用を図ります。

(6) 多様な文化と交流する機会の充実を図る

- ・市民が異なる風土や文化に触れ、理解を深められるように、友好都市である秋田県横手市との交流を推進するとともに、市民の自主的な交流活動を支援します。
- ・国際親善姉妹都市であるアメリカ合衆国オークリッジ市と交流することにより、国際感覚を備えながら、日本の文化を海外に発信することができる人材の育成に努めるとともに、国際交流協会などと連携し、多文化共生社会の実現に向けた取り組みを推進します。
- ・市民が様々な文化に親しみ見聞を広げられるように、新たな交流都市を模索します。

コメント [事務局44]:

【市民ワークショップ】

- ・野球をするようなグラウンドがない。

【地区別座談会】

- ・子どもたち、地域の方々がスポーツを行う場所が少ない。

コメント [事務局45]:

【まちづくりカフェ】

- ・ひまわりスポーツクラブ（市全体での取り組みが必要ではないか）

コメント [事務局46]:

【市民ワークショップ】

- ・額田城跡については、まだまだPR不足であるし、整備不足。

【地区別座談会】

- ・遺跡や寺院、神社などが多くある。そういうところを整備して、文化に貢献できればと思う。

コメント [事務局47]:

【まちづくりカフェ】

- ・地域を知ること大事なことだと思う。市でも、もっと情報発信した方がよいと思う。

【地区別座談会】

- ・額田城跡などの文化的財産を維持し、後世に残すだけでなく、その存在価値を地区住民と共に共有してほしい。

コメント [事務局48]:

【まちづくりカフェ】

- ・日本文化を大切に、小さいときから携わるような環境があれば、留学や出張をしたときに、外国人とのコミュニケーションが深まると思う。

コメント [事務局49]:

【市民ワークショップ】

- ・国際交流をもっと推進すべき。

5 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり

人口減少社会を迎え、若い世代が移住・定住し活力あるまちをつくるためには、本市においても、農業の活性化、創業支援、雇用対策など、「しごと」の創出につながる施策の展開や魅力的なイベントの開催など、交流人口の拡大につながる取り組みが必要です。

そのため、市の活力を支える産業を築くことができるように、基幹産業である農業の振興を図るとともに、先端科学技術産業の立地や交通の利便性が高いなどの優位性を活かし、優良企業の誘致を進めます。また、商業・サービス業の活性化や魅力ある観光資源づくり、特産品づくりを進めるとともに、情報発信の強化及び販路拡大に取り組みます。

(1) 活力ある農業の振興を図る

- 生産基盤の強化と農地の保全を図るため、土地改良施設の整備や担い手への農地集積を推進するとともに、農地法面の草刈りや水路の泥上げなど、地域で行う共同活動を支援します。
- 経営基盤の強化に必要な機械設備の購入に対する補助などを通して、新規就農者の確保や担い手の育成を図ります。
- 農業従事者の生産意欲を高めるため、農産物直売所の更なる利活用や学校給食への地元野菜の採用拡大に努めるとともに、ICTを活用した販路の拡大や農産物の地域ブランド化、6次産業化の推進など、力強い農業の実現を図ります。

(2) 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る

- 地場産業の競争力を高めるため、金融機関などと連携し、創業希望者に対する融資制度の紹介や企業コーディネーターによる相談窓口の開設など、創業支援・企業支援体制の整備に努めるとともに、賑わいの場を創出するため、商業施設の新規立地を促進します。
- 若い世代が市内に定住して働くことができるように、地元大学・地元企業と連携した雇用の創出・就職支援に取り組むとともに、固定資産税の優遇制度などを活用しながら、優良企業の誘致を進めます。

(3) 地域資源を活かした観光の振興を図る

- 交流人口の拡大を図り、市の産業全体の活性化につなげていくため、地域資源を活かした特産品の開発や観光コースの整備を進めるとともに、近隣市町村と連携したPRの実施やイベントの開催など、広域観光を推進します。

コメント [事務局50]:

【市民ワークショップ】
・休耕地が増えている。
【地区別座談会】
・高齢化による農業の衰退により、耕作放棄地が増えている。

コメント [事務局51]:

【まちづくりカフェ】
・農業の後継者問題が印象的。小中学生に体験させたり、話し合いや意見を述べる場を設けたりすれば、興味を持ってもらえると思う。

コメント [事務局52]:

【地区別座談会】
・TPPの条約批准がどうなるかもあるが、ドラスティックに農業を変えていかないといけない。

コメント [事務局53]:

【市民ワークショップ】
・雇用が少ないと感じる。
【まちづくりカフェ】
・地元の人が地元で働ける場所を増やすことが一番だと思う。
【地区別座談会】
・移住・定住を促進するためには、雇用を確保することが大切だ。

コメント [事務局54]:

【地区別座談会】
・企業誘致を図り、若者の雇用を生み出すことが大事だ。固定資産税を安くするなど、アメをぶら下げる必要があると思う。

コメント [事務局55]:

【市民ワークショップ】
・名物がない。
・観光資源が活かされていない。
【まちづくりカフェ】
・七運物語フェアで、七運野菜鍋のようなものを考えて売る。次につながれば、七運野菜として売り出す。
・商工会青年部と農業後継者クラブがそれぞれの得意分野を活かし、連携を取りながら、那珂市をPRするようなものができればよいと思った。
【地区別座談会】
・額田地内のお店と連携して、額田グルメ巡りを額田城跡や阿弥陀寺の桜散策コースと併せて実施する。
【総合開発審議会】
・那珂市にある潜在的な資源をいかに掘り起していき、それをまちづくりに活かしていくかということを計画の中に盛り込めるとよい。

6 行財政改革の推進による自立したまちづくり

人口減少や少子高齢化の進行による税収の減少が懸念される中で、地方交付税の縮減や医療費・福祉費・介護費の増大などにより、本市の財政は依然として厳しい状況が続いています。一方で、地方分権の進展や地方創生の推進に伴い、市民に最も身近な行政機関として、市の果たすべき役割はますます大きくなっており、自らの判断と責任に基づく自立したまちづくりが求められています。

そのため、社会経済情勢の変化や多様化する市民ニーズに的確に対応できるように、行財政改革の実施や行政評価システムの活用により、効果的・効率的な行政運営と健全な財政運営を進め、市民サービスの向上に向けた取り組みを推進します。

(1) 効果的・効率的な行政運営を推進する

- ・ 厳しい財政状況の中でも多様化する市民ニーズに的確に答えられるように、行財政改革を推進し、行政運営の簡素化・効率化を図ります。
- ・ 行政評価システムを活用し、施策や事務事業の評価検証を重ね、その結果を公表することで、行政サービスの質の向上を図るとともに、透明性の高い行政運営を進めます。
- ・ 人事評価制度を活用し、職員の能力・実績に基づいた人事管理を行うとともに、社会経済情勢の変化に応じた多様な職員研修を実施するなど、職員資質の向上を図ります。
- ・ 「茨城県央地域定住自立圏」については、福祉、医療、産業振興、公共交通などの各政策分野において、圏域を形成する市町村と連携・協力し、広域的な取り組みを進めます。
- ・ 総合計画に掲げる施策を確実に展開するため、選択と集中による実効性の高い実施計画を策定し、計画的に行政運営を進めます。

(2) 健全な財政運営を図る

- ・ 市民にとって必要な事務事業を確実に実施するため、市税の徴収率向上や企業誘致、ふるさと納税制度の普及啓発などに取り組み、自主財源の確保に努めます。
- ・ 行政評価の結果に基づき、施策や事務事業の優先度を評価し、費用対効果を考慮した予算編成を行います。
- ・ 公共施設の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、維持管理にかかる財政負担の軽減・平準化を図るとともに、活用の見込みがない市有地の売却を進めます。

(3) 多様な行政サービスを提供する

- ・ 市民満足度の高い窓口サービスを提供するため、分かりやすい案内表示の設置や快適な待合スペースの整備など、窓口環境の改善に取り組むとともに、正確・迅速・丁寧な対応が可能となるように、職員の業務知識と接客技術の向上を図ります。
- ・ 日曜開庁や証明書のコンビニ交付など、市民が利用しやすい行政サービスの提供に努めます。

コメント [事務局56]:

【地区別座談会】

- ・ 役所に行くと「県の話を開いてみないと分からない」という言葉が返ってくる。
- ・ 職員研修を充実させ、他の地域に負けなように頑張ってもらいたい。

コメント [事務局57]:

【総合開発審議会】

- ・ 那珂市は、水戸市を中心市とした定住自立圏に入った。医療や公共交通など、各分野にわたっての連携を総合計画の中でしっかりとうたう必要がある。

コメント [事務局58]:

【地区別座談会】

- ・ 市として何を整備していくのか、重点項目を定めて行政運営をした方がよいと思う。
- ##### 【総合開発審議会】
- ・ 計画を作るときは、総花的になるので、優先順位を定めて、それを住民に知らせて、合意形成を図っていく必要がある。

コメント [事務局59]:

【地区別座談会】

- ・ ふるさと納税の贈り物に工夫を凝らして、税収の増を図ることを考えてはどうか。

コメント [事務局60]:

【地区別座談会】

- ・ 結局は交付税頼みの市運営になる可能性あり。投資効果、費用対効果を第一に。

コメント [事務局61]:

【地区別座談会】

- ・ 課題を書面化して窓口へ持って行った時、受付年月日、受付番号を付与する意識を持っていなかった。市民の声を聴くときは、市のフォーマットを強要しないで、応用したやり方をしてほしい。